

はじめての論理学

——伝わるロジカル・ライティング入門

篠澤和久 = 松浦明宏 = 信太光郎 = 文 景楠

2020年10月発売 / 206頁 / 本体1800円+税
A5判 / 並製



編集
担当者
から

はじめてのレポート課題を前にして固まってしまった経験がある人は多いのではないのでしょうか。「論理的に書くように」と言われても、具体的にどうすればよいのかはなかなか教えてもらえないものです。

とりあえず結論を先に書いてから思いつくまま理由を並べ、「ゆえに」や「したがって」を適当に散りばめて形にする……。そんなことをしていませんか？

論理とは、意図を正しく伝えるための「型」です。基本的な型を身につけ、それを組み合わせれば、おのずと明快な文章を書くことができるのです。複雑そうな論文も、解きほぐせば基本型の組み合わせにすぎないとわかればもう怖くありません。

そして、論理あってこそその議論です。論争のつもりが、互いに主張をぶつけ合うだけの根比べになったような経験はないでしょうか？ そうした「水掛け論」を避けることが建設的な議論のための第一歩です。本書で型を稽古し、アクティブな学びの基礎を固めましょう。(W)

Point!

P

豊富なツールで考えながらアクティブに学べます。

3 与えられた内容を明瞭にする接続表現

これまで私たちは、議論のための日本語の核心となる、前提と結論の関係を示す接続表現をみてきた。しかし、実際の議論はさらに多くの要素から組み立てられる。そのことを理解するために、次の例をみてみよう。

EXAMPLE 3-7
今朝から日本は発達した低気圧の影響を受けている。よって、外出には傘が必要となる。

EXAMPLE 3-7は、「今朝から日本は発達した低気圧の影響を受けている」をA、「外出には傘が必要となる」をBとしたとき、両者を「A→B」という形で配置したものである。EXAMPLE 3-7の問題点は、発達した低気圧がなにを意味するのかわからない人には、そこで述べられている結論がなぜ正しいのかがきちんと伝わらないことである。こういった場合、私たちは、先に与えられた内容をさらに明瞭にすることで、読者の理解を助ける必要がある。

1 解説やまとめを行う接続表現

EXAMPLE 3-7は、下記のように修正することができる。

EXAMPLE 3-8
今朝から日本は発達した低気圧の影響を受けている。すなわち、今日は非常に雨が降りやすい。よって、外出には傘が必要となる。

これは、EXAMPLE 3-7のAとBに、Cとして「今日は非常に雨が降りやすい」を加え、3つの文を「(A=C)→B」の形で配置したものである。EXAMPLE 3-7との違いは、A=Cにある。これは、内容の難しいAが、Cという別の文によってさらに説明されていることを示す。

EXAMPLE 3-8において、CはAを解説することで、その内容を明瞭にしている。しかし、CがAのまとめとなることで、その内容を明瞭にすること

イン」について学びながらみていこう。

WORK
パラグラフが論文の本論を構成する仕方、論文全体の主張とのつながりという観点から説明してみよう（ヒントは図4.3）。

EXERCISE ● 練習問題

① 3つ以上の支持文を用いて、次のそれぞれを主論文とする300字程度のパラグラフを作りなさい。

- スマートフォンは、大学生の就職活動に必須である（または、ない）。
- 支持文の例：「スマートフォンには_____といった機能がある」
- 語学の学習は、必要になったときに集中して行うべきである（または、ない）。
- 支持文の例：「実際に語学が必要となるのは_____する場面であることが多い」

② 5つ以上のパラグラフを用いて、論文の基本構成に注意しながら、次のそれぞれを結論とする1000字程度の論文を作成しなさい。第3章 EXERCISE の型を踏まえてもよい。

- 読書をたくさんすべきである（または、ない）。
- 友達が多いほうがよい（または、多くなくてもよい）。

34 ● CHAPTER 3 文と文のつながり

3 パラグラフと論文の基本構成 ● 63

※目次は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

Nov. 2020 No.482 | 法学教室 | 119